

永福の本欄

2020/9



人生の機微を知る
シニア世代の現役作家

特集コーナー

「人生の機微を知る

シニア世代の現役作家」



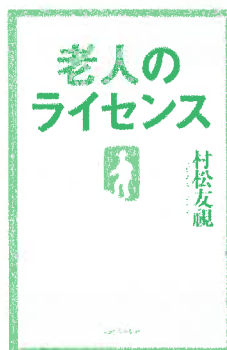
『老人のライセンス』

村松友視／著 河出書房新社

請求記号:914.7ムラ

ISBN:978-4-309-02714-2

老人ならではの味わいと風格を身に着け、独特な個性を放ち価値ある世代へと歩むことを「老成」と表している著者。それこそが老人のライセンス。著名人のみならず、日常で出会ったオバチャンや著者が愛する物事まで、鋭い観察力と小気味よい文章で書き綴られた短編集。



『夢の検閲官・魚籃観音記』

筒井康隆／著 新潮社

請求記号:BGツ

ISBN:978-4-10-117154-8

毛色の全く異なる表題の二作をはじめ、どれをとっても快作揃いの短編集。エロティックな作品から、ほろりとする感動作まで、ふり幅の広さが楽しい全10編。夢幻の世界なのにどこか生々しく、クセになるおもしろさが満載。筒井ワールドはいつでも刺激的です。



日々、新鋭の作家が登場する中、歳を重ねても尚、著書を世に送り出し、読者を魅了する作家たちの本を集めました。

大作、短編、エッセイなど様々ですが、重鎮と言われるにふさわしい面々は、「人生まだまだこれから」と私たちに語りかけているかのようです。歳月を経た作風の変化などもお楽しみください。

『芽むしり仔撃ち』

大江健三郎／著 新潮社

請求記号:BGオ

ISBN:4-10-112603-8

感化院で暮らす少年らは、空襲から逃れるために山中へ疎開することになった。住民が去った村での生活は、彼らにとって魅力的でさえあったが、疫病の流行や住民の帰還など、予期せぬ事態が頻発。追い詰められてゆく少年らを丹念に描き出す。著者の想像力と筆力に圧倒される作品です。



『時の名残り』

津村節子／著 新潮社

請求記号:914.7ツム

ISBN:978-4-10-314712-1

作家を目指し同人誌時代を共にした夫・吉村昭(2006年逝去)との思い出、編集者との交流、小説のできるまで等を、追想したエッセイです。三鷹市井の頭公園周辺の描写には、親近感を覚えます。作家夫婦ならではの来し方を知ると、作品の読み応えが増しそうです。





新着図書コーナー



『戦争の歌がきこえる』

佐藤由美子／著 柏書房
請求記号:916.1サ
ISBN:978-4-7601-5249-1

戦争経験者の多くは、戦後、その記憶を語らずに生きてきた。でも人間は死に直面した時、過去を必ず振り返る。第二次世界大戦から帰還したアメリカ人元兵士は、人生の最期に何を語ったのか？日本人の米国認定音楽療法士が、日本の外からの視点で綴った戦争の記憶。



『宇宙岩石入門 起源・観測・サンプルリターン』

牧嶋昭夫／著 朝倉書店
請求記号:440マ
ISBN:978-4-254-15022-3

本書では、宇宙探査時代に合わせて、宇宙の歴史、宇宙の岩石(岩石惑星、隕石、小惑星など)、探査機はやぶさ等のサンプルリターン計画について詳しく解説しています。2020年末には、探査機はやぶさ2が帰還予定です。知識が増えるとますます楽しみになります。



『地図で見るブラジルハンドブック』

オリヴィエ・ダバーヌ／著(ほか) 原書房
請求記号:302ハ
ISBN:978-4-562-05695-8

「ブラジル」という国にどのようなイメージをお持ちですか？著者は、サッカーやサンバ、アマゾンといった定番イメージを払拭するべく、ブラジルの真の姿を紹介してくれます。建国の歴史、アイデンティティ、経済成長の秘密、政治の腐敗他、120以上のテーマに分けて丁寧に解説。豊富な地図とグラフが特色です。



感染症予防対策に

ご理解とご協力をお願いします。



【図書館からのおねがい】

- ・マスクを着用の上、できるだけ少人数でご来館ください。
- ・入口で手指消毒し、入館してください。
- ・滞在時間はできるだけ、短くするようお願いいたします。
- ・発熱や風邪の症状がある等、体調がすぐれない方は、来館をお控えください。
- ・混雑の状況により、入館人数の制限をする場合があります。
- ・身体的距離の確保にご協力をお願いします。
- ・館内での会話はお控えください。
- ・図書館の本やCDなどのご利用の前後には手洗いをお願いします。

『世界ことわざ比較辞典』

日本ことわざ文化学会／編(ほか) 岩波書店
請求記号:388ニ
ISBN:978-4-00-080321-2

日本のことわざを「窓」として世界のことわざを覗きます。同じ意味でも例えが違ふ、まさに「所変われば品変わる」ことに感心したり、「親の心子知らず」のようにどこでも変わらない人の心にしみじみとしてみたり。原語や歴史的な変遷なども掲載するまじめな辞典ですが、雑学として気楽にめくっても楽しめます。



えいふくイベントレポート



8月は子ども向けイベントを行いました。そのうちのいくつかをご紹介します。

5日(水)「ちょっぴりこわいおはなし会」。毎月お手伝いいただいているボランティアさんによるスペシャルなお話会です。参加者は距離を保つため、マット1枚を一人分としてグループごとに島を作って座っていただきました。絵本の読み聞かせ、パネルシアター、手遊びなど。例年のように大きな声を出したり、子どもたちの間を歩きながら演目を行うことはできませんでしたが、楽しく会を進めることができました。最後に、紙コップけん玉の工作キットをプレゼントしました。

8日(土)「小学生のためのお話会・夏」。今年は地下講座室で行いました。10名近い小学生が参加してくださいました。参加のお土産として「ドリームキャッチャー」の工作キットを用意し、自宅で作ることができると好評でした。

12日(水)「永福かがく研究所 光るスライムをつくろう！」。毎年大人気の工作会です。今年も申込開始直後に定員に達しました。スライムはどうして固まるかなど説明をした後、普通のスライムと蓄光絵具を入れた光るスライムの2種類を作りました。



9月スポット展示のお知らせ 展示期間：9月4日(金)～9月30日(水)

「認知症を知って、共に生きるために ～予防と支援・介護～」

認知症への理解を深め、認知症になっても安心して暮らせるまちをつくるために、杉並区では9月を認知症理解の普及啓発月間とし、さまざまな取り組みを行っています。その一環として、認知症予防や介護の体験談、もしもに備えた相続の本などを展示します。それぞれの理解と生活にお役立てください。

「心を休める(杉並区 秋の自殺予防月間)」

暑い夏に溜まった疲れがどっと出やすい秋は、体調を崩しやすくなるといわれています。また、生活の中で受けるさまざまなストレスもやわらげたいものです。心を休める本、不調をやわらげる本、うつ病について考える本を紹介いたします。

永福図書館からの

お知らせ

開館時間 (月曜～土曜) 午前9時～午後8時
(日曜・祝日) 午前9時～午後5時

9月の休館日

9月3日(木)、17日(木) 予定

なみすけがやってくる！～55年間ありがとう 永福図書館～

杉並区の公式キャラクター「なみすけ」がやってきます！一緒に写真をとって、思い出をたくさん残しましょう。カメラやスマホをおわずれなく。

【日時】 9月12日(土) 10:00～11:30

【会場】 地下講座室

【定員】 各回25組 ※先着順

【対象】 どなたでも



※なみすけの登場時間は10:00～10:30／11:00～11:30です。

永福図書館との思い出をカードに記入してくれた方には、記念品をプレゼントします。エコバックにスタンプを押したり、クレヨンで絵を描いたりして、オリジナルエコバックを作るコーナーもあります。

永福図書館の思い出を募集します！～55年間ありがとう えいふく図書館～

募集テーマ「わたしと永福図書館」

永福図書館は令和3年4月に移転予定です。引っ越し準備のため、令和3年1月から休館を予定しています。現在の建物に入ることができるのは今年いっぱいです。

55年間ご利用いただいた永福図書館にどんな思い出がありますか？ぜひとおきの思い出を教えてください。思い出カードを書いてくれたみなさまに、記念カレンダーをプレゼント！すてきな思い出話、お待ちしております。《お寄せいただいた思い出は、館内に掲示します》

【提出先】 1階カウンター

【募集期間】 募集中(11月30日まで)

※1階カウンター、3階カウンターにて記入用紙を配布しています。

問合せ：永福図書館 (杉並区永福4-25-7 ☎ 03-3322-7141)

永福の本棚 2020年9月号 (通巻279号)

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。